

# JET からの手紙

## 被災地から世界に発信

岩手県陸前高田市観光交流課  
Sarah Chu (サラ・チュウ)

### きっかけ

初めて大学の先輩に「JET プログラム国際交流員」について聞いた時、理想的な仕事が見つかったと思いました。なぜなら、自分の知っている言語を活かし、翻訳・通訳などを通して、日本とシンガポール、世界の架け橋になりたかったからです。

私は小さい頃に日本が好きになり、いつか日本で仕事がしたいと思い続けていました。人生の節目は、香港大学在学中の 2017 年に、香港大学日本研究学科と香港三菱商事が取り組んだ「若手リーダー日本交流プログラム」に参加したことでした。宮城県石巻市雄勝町で、東日本大震災直後に設立された複合体験施設「MORIUMIUS」で話を聞き、「皆の力になりたい、ボランティアをしたい」と初めて思いました。2018 年の夏休みに、「MORIUMIUS」で 3 週間のインターンシップを経験し、JET プログラムの面接で、それについて説明したこともあって、陸前高田市に配属されたのではないかと思います。

### 国際交流員としての仕事

私の業務の内容は、翻訳・通訳、シンガポールと陸前高田の国際交流、毎月の広報紙への記事掲載、外国人向けの SNS 投稿など、多種多様です。

陸前高田市は 2011 年 3 月 11 日に、東日本大震災による甚大な被害を受けました。死者・行方不明者数は合計 1,761 人（当時の人口の 7.3 %）、損壊した家屋は 8,035 世帯（当時の世帯数の 99.5 %）と、岩手県内では最も被害が大きい市町村でした。シンガポール共和国から復興のために多大な支援を頂き、市民が集まれるコミュニティホール、市立図書館、総合交流センター「夢



復興ありがとうホストタウンの公式Instagramアカウントへの投稿

アリーナたかた」が整備され、奨学金制度まで設けられました。陸前高田市は、シンガポールの「復興ありがとうホストタウン」です。毎月、英語と日本語でホストタウンの公式Instagramに投稿し、市の情報発信をしています。

2019年には、陸前高田市民がシンガポールを理解し、ホストタウンとしての機運を醸成するため、「シンガポールフェア」という交流イベントを開催しました。今年はコロナの影響で、YouTube でのライブ配信となりましたが、英語字幕の作成など工夫を凝らしながら対応しま



シンガポール人の訪問客へコミュニティホールにあるシンガポールホールを案内



ガイド講習で気仙大工左官伝承館を視察

した。私は、外国人が来訪する際、案内・通訳をしています。やはり現場で外国人を案内して、震災前と震災直後に何が起こったのか、復興と新しいまちづくり、震災の教訓などを説明する度にやり甲斐を感じます。

さらに、観光物産協会主催の「ガイド講習」に参加。陸前高田の観光、歴史、産業、震災遺構など、たくさん学ぶことができました。新型コロナウイルスが落ち着いたら、学んだ知識を活かして、たくさんの外国からの旅行者をおもてなししたいです。

今年は東日本大震災から10年を迎えたので、海外メディアも色々取材してくださいました。記者たちは陸前高田市に直接来られないため、私がオンラインインタビューを受ける人を探し、調整しながら通訳も行いました。これらを通し、世界中の人々に陸前高田市について情報発信ができました。

## 陸前高田の魅力

陸前高田市は震災関係のイメージが強いですが、海も山も川もあり、自然に囲まれていてさまざまな食材、景色が体験できます。私は、陸前高田の海が好きなので、休日は漁師である友達の船に乗ってアナゴを取りに行ったり、ウニむきの手伝いをしたりします。

また、陸前高田市には、「気仙町けんか七夕まつり」と「高田町うごく七夕まつり」という大きな祭りが二つあります。私は気仙町けんか七夕太鼓保存会に入り、笛の練習をしています。いつかステージで皆と一緒に出演したいと思っています。



ウニむき体験

## 今後のCIRとしての取り組みに係る抱負

今は新型コロナウイルスの影響でイベントを開催できませんが、陸前高田市はオンラインを活用しながらさまざまな取り組みをしています。私も、「Visit Takata」という外国人向けのSNSで市の情報発信をしています。コロナ禍の中での良い方策だと思いますが、あくまでも画面上での交流です。私はガイドの認定証をもらったので、きちんと陸前高田市の魅力を訪問客に伝えたいです。皆さんに足を運んでもらわないとできないことなので、新型コロナウイルスが収まったら、是非来てください！一人前のガイドになり、陸前高田市を案内させていただきます。



宮古の中学校へ訪問し、シンガポールを紹介

### プロフィール



**Sarah Chu**  
(サラ・チュウ)

香港生まれシンガポール出身。香港大学文学部在学中の2017年に体験学習「若手リーダー日本交流プログラム」に参加し、東日本大震災の被災地での復興支援について学習。2018年に上智大学に4か月間交換留学し、香港に帰る前に宮城県石巻市雄勝町で3週間インターンシップ。2019年に大学卒業後、国際交流員として陸前高田市役所に着任。現在2年目。陸前高田市気仙町けんか七夕太鼓保存会に入り、笛を練習中。JETプログラム終了後、被災地の活性化に関する研究や仕事をしたい希望。趣味は、カラオケ、映画、近代文学など。

Facebook : [www.facebook.com/visit.takata](http://www.facebook.com/visit.takata)

Instagram : @visit\_takata